

科学部 夏の活動報告②

— 自然には不思議がいっぱい！発表会にも参加します —

2015年10月30日 発行

野外での生き物観察は、対象の生き物が観察しやすい場所、時間に人間が合わせないといけません。時には体力や忍耐も必要ですが、みんな楽しく活動しています。また、各種発表会にも積極的に参加しています。

高島干潟いきもの観察会

日時：8月12日（水）13:00～16:00 概要：市民向けの干潟観察会で、観察や安全確認、会場設営、資材運搬などの補助を行った。
場所：児島湾高島干潟
参加者：51名（科学部8名） 主催：おかやま環境ネットワーク、おかやまコープ倉敷エリア



図1 百間川の河口付近にある干潟で、会場までは船で渡っています。



図2 泥まみれになって生き物を探しました。カキ殻などで怪我をしないように注意します。



図3 海水の浄化や生物多様性の維持など、干潟の役割や希少種などの解説を聞きました。



図4 絶滅危惧種で、目が退化したハゼのなかまのチワラスボも見つかりました。

オオシロカゲロウ観察会

日時：9月12日（土）18:00～20:00 概要：8月下旬～9月中旬に大量羽化するオオシロカゲロウを観察した。岡山理科大学学生の卒業研究のテーマにもなっており、見聞を深めた。
場所：岡山市北区岡北大橋下河川敷
参加者：科学部5名 主催：岡山野生生物調査会



図5 ライトトラップを使うと、オオシロカゲロウを初め、様々な水生昆虫が集まってきます。



図6 光に集まる様子はまるで吹雪のようでした。死骸はスリッパ事故の原因にもなります。



図7 成虫(亜成虫)になったオオシロカゲロウの寿命は短く、1時間に満たないくらいです。



図8 ロヤや手足が退化していることや、大量羽化のメカニズムなど、興味はつきません。

第8回いい川づくりワークショップ in 仙台

日時：8月29日（土）～8月30日（日）
場所：東北工業大学（八木山キャンパス）
参加者：科学部1名



図9 全国の川で活動している41団体が、自分たちの活動についてアピールを行いました。



図10 科学部の水質調査や地域貢献活動が、入選、特別賞のダブル受賞をしました。

土木学会全国大会プレイベント

おかやまNEXT100年コンテスト

日時：9月13日（日）11:00～17:00
場所：岡山市立市民文化ホール
参加者：科学部1名



図11 旭川や川の水を利用した100年後の町を考え、イラストを応募しました。



図12 最終選考会では大ホールでプレゼンを行い、最優秀賞を受賞しました。